

アイ
Eyeむさしのは患者さん向けの情報誌です
ご自由にお持ちください



- ・ 副院長に就任して
- ・ 医療連携について
- ・ 全身血管撮影装置について
- ・ 武蔵野市防災訓練がありました
- ・ 一部外来が変わりました
- ・ 病院ホームページが新しく生まれ変わりました
- ・ 超音波診断装置が配置になりました

基本理念

愛の心を高める

基本方針

病院職員は、愛の心を高め
「愛の病院」を実現します

4つの愛

病人への愛
同僚と職場への愛
地域住民と地域への愛
地球、自然、命への愛

平成19年度 武蔵野市総合防災訓練

防災対応型訓練として9月2日(日)午前8時30分
武蔵野市内において、震度6強の地震が発生
したと想定。市は対策本部を設置し情報収集
を始める。



急ぎ動きに自衛隊車両も参加

<訓練場所>

武蔵野市立境南小学校
武蔵野赤十字病院

<協力>

日本赤十字社東京都支部・日本赤十字学園(短
大・大学)・東京消防庁・警視庁・陸上自衛隊・境
南防災懇談会・武蔵野市医師会・東京西赤十字
血液センター

<目的>

関係機関や関係団体の協力のもと、相互の連携
を深めるとともに、市民の防災意識と防災行動力
の向上を図るため、各種の連携訓練や市民を対
象とした訓練を実施。



東京DMAT救急出動機



特殊救急車は緊急エリア



職員が協力して搬送にあたる

武蔵野赤十字病院コーラスグループ
ドリームからのお知らせ

第6期メンバー募集

患者様によるコーラスグループです。
毎月一回楽しく練習に励んでいます。

歌が好き、健康のため・理由はさまざま
楽しいひと時をと考えています。

- 対象：当院の患者様
- 申込み方法：往復はがきに氏名、年齢、住所
郵便番号、連絡先をご記入の上
下記あてにお送り願います。
- 申込み期限：随時



宛先：郵便番号180-8610
東京都武蔵野市境南町1-26-1
武蔵野赤十字病院
総務課広報係

お問合せ先： 0422-32-3111
総務課広報係 福川

年内練習日：11月11日(日)、25日(日)
12月9日(日)

場所・時間：山崎記念講堂、午後1時30分～4時

お待ちしております



ドリームメンバー

B I G ニュース ”優勝”

平成19年度 武蔵野市自衛消防隊訓練審
査会において、武蔵野赤十字病院男子隊
が見事優勝しました。

男子隊は去年に
続き2連覇を達
成！！
女子隊も健闘は
しましたが4位
に終わりました



これからの
コンサートスケジュール

- 12月21日(金) 午後6時15分～8時
クリスマスジョイントコンサート

来年も、皆さんに楽しん
でいただけるコンサート
を予定していますので、
お楽しみに！！

ちょっとお立ち寄りください

外来棟3階にある情報ラウンジをご存知ですか？

インターネットが10分100円で利用できたり、その場で読むことが出来る医療関係の本が設置されていたりと、皆様の情報交換の場としてご利用下さい。

<図書>

- ・がんに関する本 23冊
- ・がん以外の病気に
に関する本 50冊
- ・医学全般の本 6冊
- ・ドキュメンタリー、患者支援などの本 5冊



<ご利用時間>

パソコン 平日のみ 午前9時～午後5時
図書 月・火・水・金 午前10時～午後3時

専門認定看護師紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師の
比留間 真子さん

長期間ベッドに寝ている患者さまや車いすを利用している患者さまに多く見られるのが褥瘡です。褥瘡とは、いわゆる床ずれと呼ばれるもので、「床ずれ」は患者さまご自身がお持ちの力と治療と看護や介護が融合して治ります。

<比留間さんのお一日>

皮膚に関するケアや排泄に関するケア、また、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の患者さまや失禁の患者さまのお世話をさせていただいています。「床ずれ」ができてしまった患者さまへのケアやできないための予防など、病棟患者さまを中心に行っています。患者の皆様に優しい看護を目指しています。



病棟看護師と打ち合わせ中の比留間さん

ホームページが一新

ホームページが変わりました。
誰が見てもわかりやすいホームページを職員の手で作りました。一度ご覧になられてください。
URL <http://www.musashino-jrc.or.jp>



医療連携センターより

<連携について>

医療連携と聞くと、なんだか堅苦しく、少々遠いものを感じる方も多いかも知れませんが、実際にはとても身近であり、病院を利用する皆様にとって関わりが深いものなのです。医療連携センターは、いわば病院の窓口、病院の内外をつなぐパイプのようなところ。地域の先生からの受診予約を調整したり、時にはお問い合わせを受けた内容について医師に確認をとったりしています。また、病状が安定して退院や転院をする時、医療や介護のサービスの調整や療養先を探すお手伝いをしています。医療連携センターには、医師・看護師・ソーシャルワーカー・事務職と多様な職種が在籍しています。それぞれの持ち味を生かし協働することで、少しでもスムーズに安心して患者の皆様が病院をご利用頂けるようにすることを目的とし、連携拡大を推進しています。

(医療ソーシャルワーカー(MSW)とは)
突然、病気になるたり身内が倒れたとき、いままですら気が付かなかった問題が出てきたりするもの。そんなとき、医療ソーシャルワーカーはさまざまな福祉サービスを紹介します。あなたらしい生活を続けていけるように一緒に考えていきます。

お知らせ

外来が変わりました

より一層の患者サービスと業務の効率化を目指して、5番館2階の内分泌代謝科を8月1日より2階から1階へ移動。11月5日からは、2階の外来受付が一部移動しました。案内板をご確認の上、お間違いないようお願いいたします。ご不明な点は係の者におたずね下さい。

● 新血管撮影装置の紹介 脳神経外科部長 戸根 修

平成19年6月から、新しい血管撮影装置の使用を開始しました。この装置は当院では3台目の血管撮影装置となります。



今までは心臓カテーテル用装置と放射線科・脳神経外科共有の装置の2台で運用してきましたが、3台目の装置は循環器科・放射線科・脳神経外科の3科が共有で運用する装置です。この新しい血管撮影装置は最新のフラットパネルを備えたもので、画像の解像度が格段に向上し立体撮影も可能です。また心臓カテーテル治療の最新の機器を備えています。新しい血管造影室は心臓カテーテル治療や脳血管内治療を安全に行うことが出来るように、広いスペースを確保し、全身麻酔を行う上でも適した環境となっています。



● 超音波診断装置の設置

この度当院4階泌尿器科外来に平成19年度公益補助事業による「財団法人日本自転車振興会」からの補助金により、高機能な超音波診断装置が設置されました。腹部疾患診断及び腎臓・膀胱等の診断に用いられ、生活習慣病・難病・特殊疾病等に対し高度な医療が必要とされる治療を地域医療に提供することに役立てていきます。



超音波診断装置

副院長に就任して



武蔵野赤十字病院
副院長・脳神経外科部長
冨田 博樹

今年7月に副院長に就任しました。今までは脳神経外科の部長として、診療に当たっていましたが、この度副院長という立場から三宅院長を補佐し、病院の経営の一翼を担うことになりました。現在、世界で最も早いスピードで高齢化が進行している我が国では、近年医療費の抑制が続けられており、特に病院は非常に厳しい経営状況に置かれています。

そのなかで病院には最新の診断治療を行い、優れた安全性を維持していくことが求められています。

病院職員は歯を食いしばってがんばっておりますが、特に医師や看護師の過重労働が社会問題となっています。

当院も厳しい経営状況の中で医師・看護師を増員し、施設の近代化整備のため新外来棟建設、救命救急センター改築、脳卒中センター設置などを終えました。

地域の急性期中核病院として当院は入院治療にその主力を注ぐことが求められています。そして、限られたベッドを有効に使用することで、この地域の皆様に広く当院の高度な入院治療の機能を提供できることとなります。

地域の各病院もそれぞれの役割を明確にできています。急性期を担当する病院、その後の回復期を担当する病院等です。地域の病院同士の協力や、病状が安定した後の日常診療を診療所・ホームドクターの先生方と協同しての診療体制がきわめて大切です。さらにこれからは医療を提供する我々とそれを受ける患者の皆様との協力関係を強めることが、当院での医療の安全と質を高めてゆく基礎になると考えられます。

地域の急性期中核病院として皆様の健康を支えるべく、一層の努力を続けて参りますが、患者の皆様も地域で果たす当院の役割をご理解頂きまして、ご支援下さいませよう、お願い申し上げます。